

1. 経済政策の役割

経済政策
(2013年度春学期)

キーワード

- の役割 vs の役割
- 経済政策の3つの機能 (↔ 経済政策の種類)
 - (↔)
 - (↔)
 - (↔)
- 市場の失敗
 - ① ②
 - ③ ④ など
- 「 政府」と「 政府」
- 景気判断と
- GDPの 等価

「3つの機能」の観点から経済政策を考えよう

- ① 資源配分 …… [] の観点
 - 資源（労働力、資本、土地、天然資源）を、どの分野に重点的に使うのが良いか
 - 限られた資源の〔有効活用 or ~~ムダ使い~~〕となるか
 - 供給側（生産）に働きかける → 長期的な成長力強化
 - ② 所得再分配 …… [] の観点
 - 経済の果実（所得）の分け前が公平に配られるか
 - 高所得者 から 低所得者・社会的弱者 へ
 - ③ 経済安定化 …… [] の観点
 - 景気の変動＝所得・雇用・物価の変動をいかに抑えるか
 - 不況・デフレからいかに景気を回復させるか
 - 需要側（支出）に働きかける → 短期的な景気対策
- 3つの間には [] がある
 - 政策の [] も考慮する必要がある

3

例1：財政政策（アベノミクス 第2の矢）

- 「機動的な財政政策」
- 公共投資の拡大（国土強靱化＝防災、インフラ補修）
- 緊急経済対策（13年1月）：財政支出10.3兆、事業規模20.2兆

- ① 資源配分〔効率性：資源の有効活用／長期的な成長力強化〕
公共投資（ [] ）へ資源がシフト
- ② 所得再分配〔公平性：格差是正・平等〕
[] →（現在の）[] 従事者 へ所得が移転
- ③ 経済安定化〔安定性：景気変動の抑制／短期的な景気回復〕
[] 業界は景気上向き（雇用・所得が増加）
[] 従事者が得たお金を使えば → 他の業界へも波及
（＝ [] 効果）

※ 副作用 …… []

5

例2：成長戦略(アベノミクス 第3の矢)

- 成長分野へ資源を集中
- 重点分野・・・健康(医療・介護)、エネルギー・環境、農業

① 資源配分 [効率性: 資源の有効活用/長期的な成長力強化]

重点分野	需要の成長	供給の成長(生産性向上)
健康(医療・介護)		
エネルギー・環境		規制改革・競争の活性化 技術進歩 がカギ
農林水産業		

② 所得再分配 [公平性: 格差是正・平等]

→ 従事者 へ所得が移転

③ 経済安定化 [安定性: 景気変動の抑制/短期的な景気回復]

即効性・・・[あり/なし]

重点分野で需要(投資・消費)が活性化するか否かに依存

7

例3：TPP(環太平洋経済連携協定)

- 域内の貿易の**関税撤廃**、労働移動の自由化、規制の調和
- 参加国: シンガポール、ブルネイ、チリ、ニュージーランド
- 参加表明: オーストラリア、アメリカ、ベトナム、マレーシア等

① 資源配分 [効率性: 資源の有効活用/長期的な成長力強化]

→ へ資源がシフト

② 所得再分配 [公平性: 格差是正・平等]

従事者 → 従事者、 へ所得が移転

③ 経済安定化 [安定性: 景気変動の抑制/短期的な景気回復]

製造業: が増加すれば、雇用・所得が

農業: 輸入農産物との競争に負ければ、雇用・所得が

9

例4：消費税増税

- 消費税率引き上げ：14年4月 8%、15年10月 10% へ
- 生活必需品等への軽減税率の導入等を検討

	①資源配分	②所得再分配	③経済安定化
消費税増税			
所得税増税			
法人税増税			

11

例5：震災復興

- 東日本大震災の復旧・復興支援／復興庁創設(12年2月)
- 復興予算：11年度補正15兆、12年度3.8兆、13年度4.4兆
- 財源：復興増税(所得税、住民税、法人税)10.5兆 ほか

① 資源配分 [効率性：資源の有効活用／長期的な成長力強化]

へ資源がシフト
→ 震災地域の経済活動の回復

② 所得再分配 [公平性：格差是正・平等]

→ へ所得が移転

③ 経済安定化 [安定性：景気変動の抑制／短期的な景気回復]

需要側：

供給側： の回復

13

経済政策(政府)の役割

■ 市場経済における経済政策(政府)の役割

=

というのが基本！！

経済は原則として に任せる
経済政策(政府)の役割は のみ

14

経済政策(政府)の役割と市場(民間)の役割

政府の役割

市場の役割

① 資源配分機能 [効率性]

限られた資源を何に使うべきか

「市場の失敗」の是正
公共財、外部性、
規模の経済性 等



市場メカニズム
(価格メカニズム)
=「神の見えざる手」

② 所得再分配機能 [公平性]

豊かな人から社会的弱者へ
の所得移転



市場には再分配機能なし

③ 経済安定化機能 [安定性]

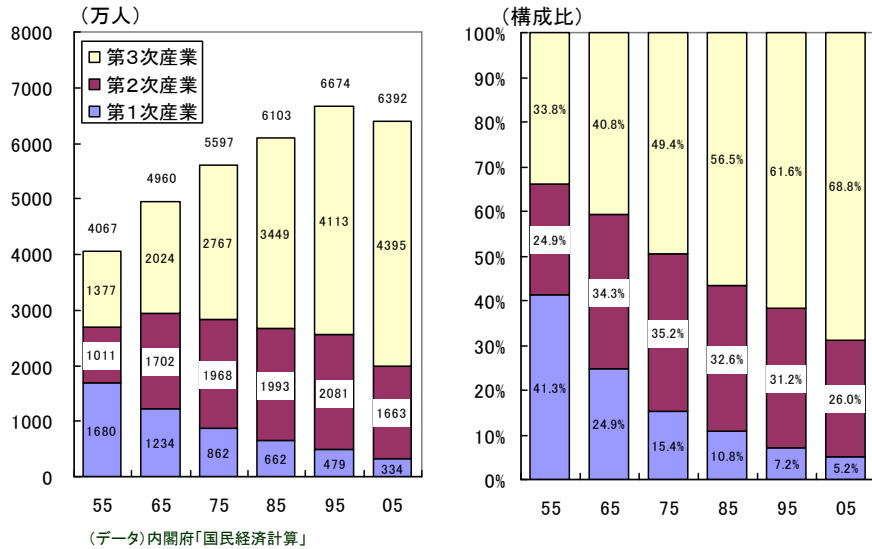
景気変動(成長率、失業率、
物価の変動)の安定化



新古典派(市場が自動調節)
vs ケインズ派(市場では無理)

15

労働力の配分・・・産業別就業者数の推移



16

労働力の産業間配分の推移

	就業者数シェア			労働生産性(万円/人)		
	1996	2006	(変化)	1996	2006	(伸び率)
1. 産業	92.3%	92.8%	0.5%	744	848	14.0%
(1) 農林水産業	6.8%	5.1%	-1.8%	187	250	33.4%
(2) 鉱業	0.1%	0.1%	0.0%	756	1,276	68.7%
(3) 製造業	20.5%	17.4%	-3.1%	799	1,138	42.4%
(4) 建設業	10.4%	8.6%	-1.8%	595	595	-0.1%
(5) 電気・ガス・水道業	0.7%	0.7%	0.0%	2,906	3,595	23.7%
(6) 卸売・小売業	17.7%	16.7%	-1.0%	631	650	3.1%
(7) 金融・保険業	3.1%	2.7%	-0.3%	1,478	1,940	31.2%
(8) 不動産業	1.5%	1.5%	0.0%	5,672	6,348	11.9%
(9) 運輸・通信業	5.9%	5.8%	-0.1%	812	1,016	25.0%
(10) サービス業	25.6%	34.3%	8.6%	546	540	-1.2%
2. 政府	5.6%	5.4%	-0.2%	1,145	1,436	25.3%
3. 非営利	2.1%	1.9%	-0.3%	638	949	48.7%

17

市場メカニズム = 最適な資源配分 アダム・スミスの「神の見えざる手」

- かれの眼中にあるのは、もちろん自分自身の利益であって、その社会の利益ではない。けれども、かれ自身の利益を追求していくと、かれは、おのずから、というよりもむしろ必然的に、その社会にとって、もっとも有利な資本の使い方を選ぶ結果になるものなのである。
- かれは、普通、社会公共の利益を増進しようなどと意図しているわけでもないし、また、自分が社会の利益をどれだけ増進しているのかも知っているわけではない。・・・生産物が最大の価値をもつように産業を運営するのは、自分自身の利得のためなのである。だが、こうすることによって、かれは、・・・**見えない手**に導かれて、自分で意図してもしなかった一目的(=社会公共の利益)を促進することになる。

(出所) 竹本洋(2005)『「国富論」を読む』pp.127~129、()内は引用者

18

市場の失敗

- 市場の失敗 = 市場メカニズムが機能しない場合
 - 市場では適切な や にならない
 - = 市場で適切な資源配分が実現しない
 - 政府(経済政策)の役割
- 代表的な「市場の失敗」

- ①
- ②
- ③
- ④

19

資源配分機能(「市場の失敗」)

- 公共財…皆が自由に使える(、)
 - 例: 純粹公共財…等
準公共財…等
 - 問題: → 民間では不採算 → 供給
 - 対策:
=による費用の強制徴収+政府による

- 外部性…直接の生産者・消費者 にも利益・不利益
 - 例: 公害、たばこ(外部に不利益); エコカー、鉄道(外部に利益)
 - 問題: 外部の利益・不利益が市場の取引に
 - 外部経済(正の外部性) → 供給
 - 外部不経済(負の外部性) → 供給
 - 対策: 外部の利益・不利益を市場の取引・価格に
=外部性の (補助金・税金)

20

資源配分機能(「市場の失敗」)

- 規模の経済性…に生産するほど 生産できる
 - 例:
 - 問題: → の弊害(価格つり上げ、効率化の怠り)
 - 対策: の防止
=の容認 + 政府による

- 情報の不完全性
 - 例: 中古車、英会話、エステ等
 - 問題: の欠如 → 適切な売買の判断が
 - 対策: が得られるようにする
=の義務付け、政府による、

21

所得税率と所得再分配

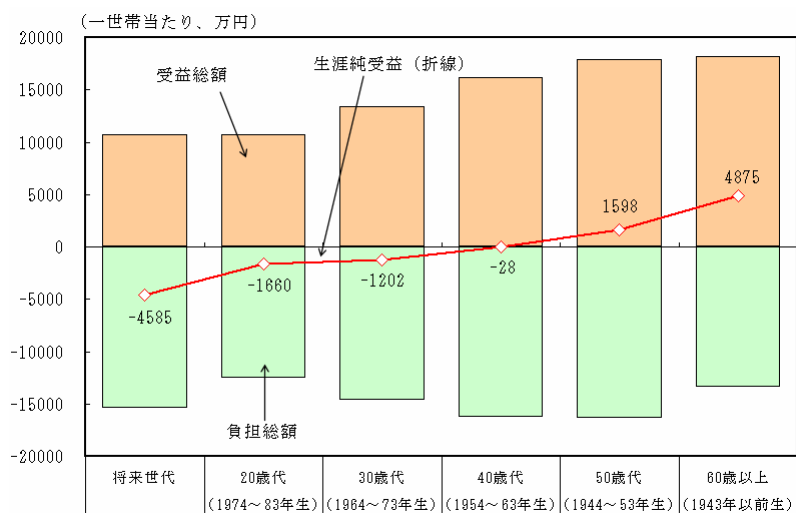
課税される所得金額（千円未満切捨て）	税率
195万円以下	5%
195万円超～330万円以下	10%
330万円超～695万円以下	20%
695万円超～900万円以下	23%
900万円超～1,800万円以下	33%
1,800万円超	40%

（出所）国税庁ホームページ
<http://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/2260.htm>

※. 2015年度から、4,000万円超は税率45%となる区分を新設

24

世代間の所得再分配



（出所）内閣府『平成17年度経済財政白書』

25

経済安定化機能

■ 経済安定化機能

□問題: →

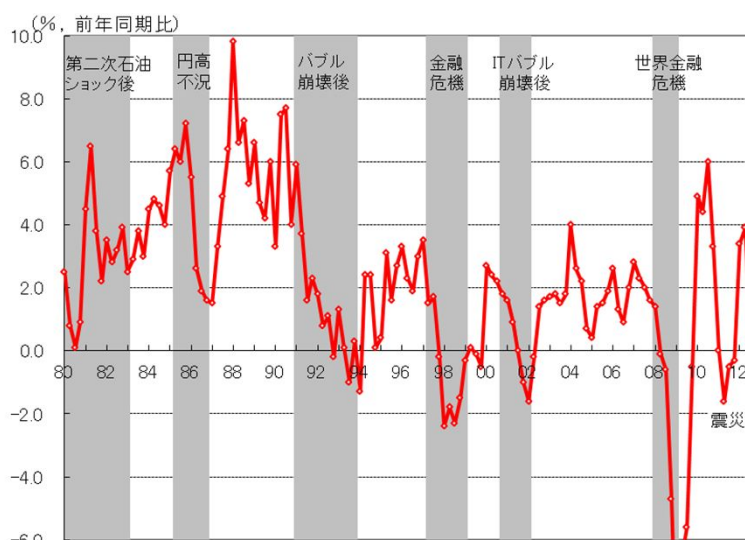
□対策: 経済安定化政策(マクロ経済政策)の2本柱

①

②

26

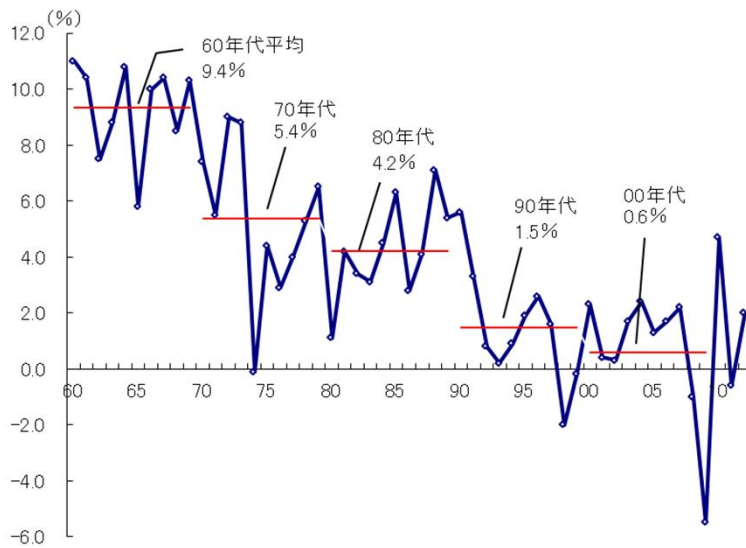
経済成長率(GDP成長率)の変動



(注)実質GDP成長率(前年同期比)、内閣府「国民経済計算」より作成

28

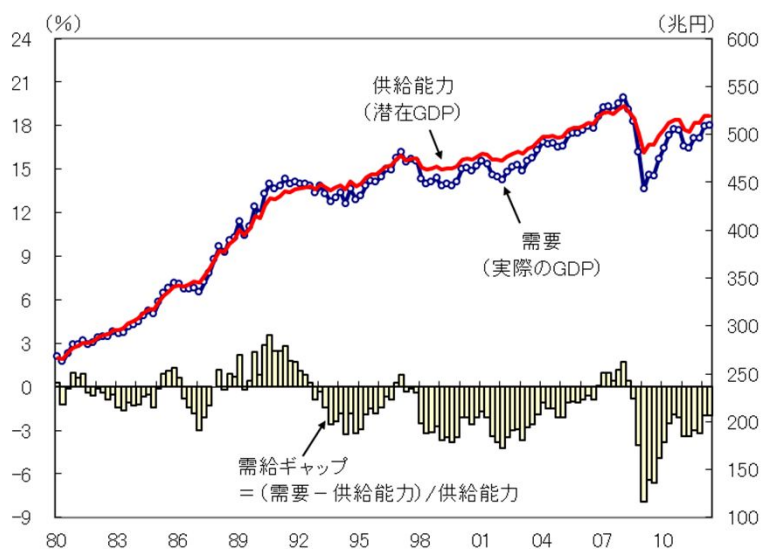
(参考) 経済成長率の長期的趨勢



(注) 実質GDP成長率(暦年)、内閣府「国民経済計算」より作成

29

(参考) 潜在GDPと需給ギャップ



(注) 内閣府「国民経済計算」、内閣府資料より作成

30

失業率の変動



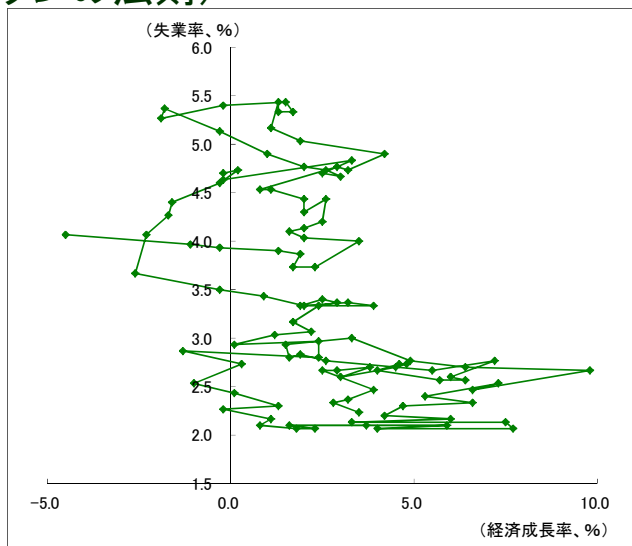
32

物価の変動



33

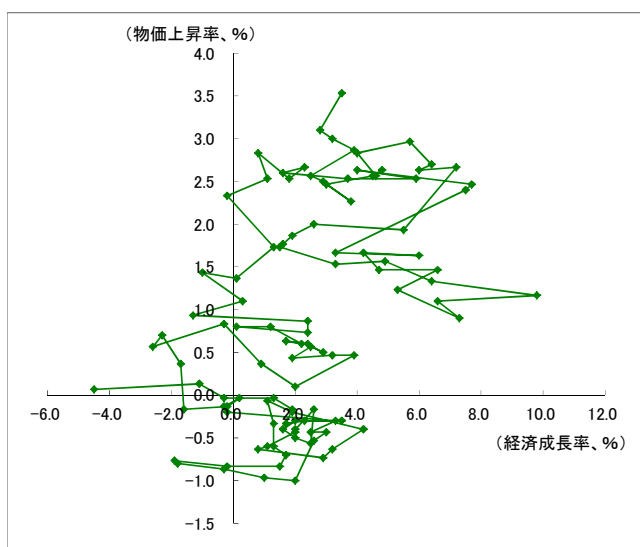
経済成長率と失業率の関係 (オークンの法則)



(注) 実質GDP成長率と完全失業率の関係、1981~2008年

34

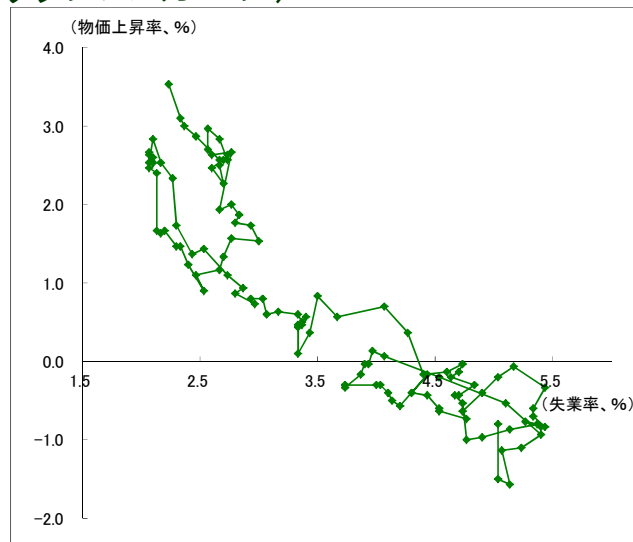
経済成長率と物価の関係



(注) 実質GDP成長率と消費者物価上昇率(食料・エネルギーを除く総合、消費税の影響除く)の関係、1981~2008年

35

失業率と物価の関係 (フィリップス・カーブ)



(注)完全失業率と消費者物価上昇率(食料・エネルギーを除く総合、消費税の影響除く)の関係、1981~2010年

36

政府の景気判断と政策運営

〈政府〉

■ 政府経済見通し

- 年1回(12月閣議了解、1月閣議決定)
- 経済の見通し、政策の基本的態度

■ 月例経済報告

- 毎月、内閣府が閣僚会議に報告
- 景気の現状判断、政府経済見通しと現状の乖離を検証

〈日本銀行〉

■ 経済・物価情勢の展望(展望レポート)

- 年2回(4月、10月)、金融政策決定会合で決定
- 経済・物価情勢の見通し、金融政策運営の考え方

■ 金融経済月報(基本的見解)

- 毎月、金融政策決定会合で決定
- 景気の現状判断、展望レポートの見通しと現状の乖離を検証

37

最近の政府の経済対策

2013年1月	日本経済再生に向けた緊急経済対策
2012年11月	日本再生加速プログラム -経済の再生と被災地の復興のために-
2011年10月	円高への総合的対応策 -リスクに強靱な社会の構築を目指して-
2010年10月	円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策 -新成長戦略実現に向けたステップ2-
2010年9月	新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策 -円高、デフレへの緊急対応-
2009年12月	明日の安心と成長のための緊急経済対策
2009年10月	緊急雇用対策
2009年4月	経済危機対策
2008年12月	生活防衛のための緊急対策
2008年10月	生活対策
2008年8月	安心実現のための緊急総合対策
2008年4月	成長力強化への早期実施策
2002年12月	改革加速プログラム
2002年10月	改革加速のための総合対応策
2002年6月	当面の経済活性化策等の推進について-デフレ克服の取組加速のために-
2002年2月	早急に取り組むべきデフレ対応策
2001年12月	緊急対応プログラム
2001年10月	改革先行プログラム
2001年4月	緊急経済対策
2000年10月	日本新生のための新発展政策

38

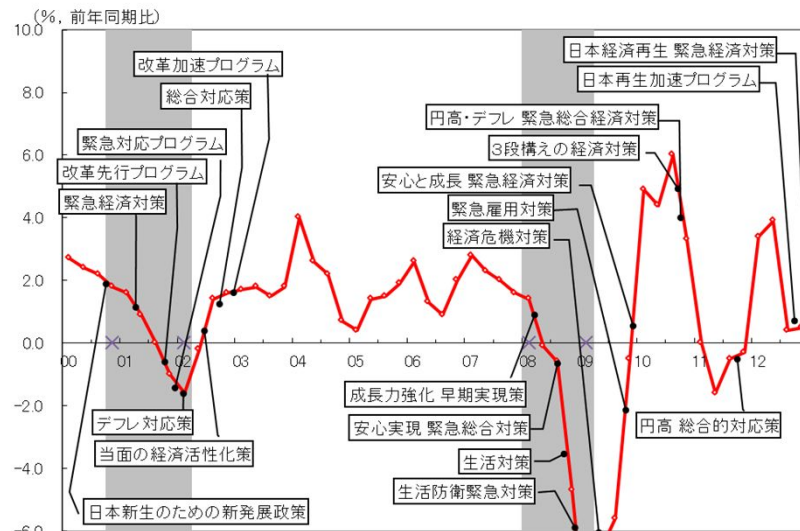
最近の政府の経済対策(続き)

1999年11月	経済新生対策
1998年11月	緊急経済対策
1998年4月	総合経済対策
1995年9月	経済対策
1995年4月	緊急・円高経済対策
1994年2月	総合経済対策
1993年9月	緊急経済対策
1993年4月	新総合経済対策
1992年8月	総合経済対策

(注)内閣府ホームページより作成

39

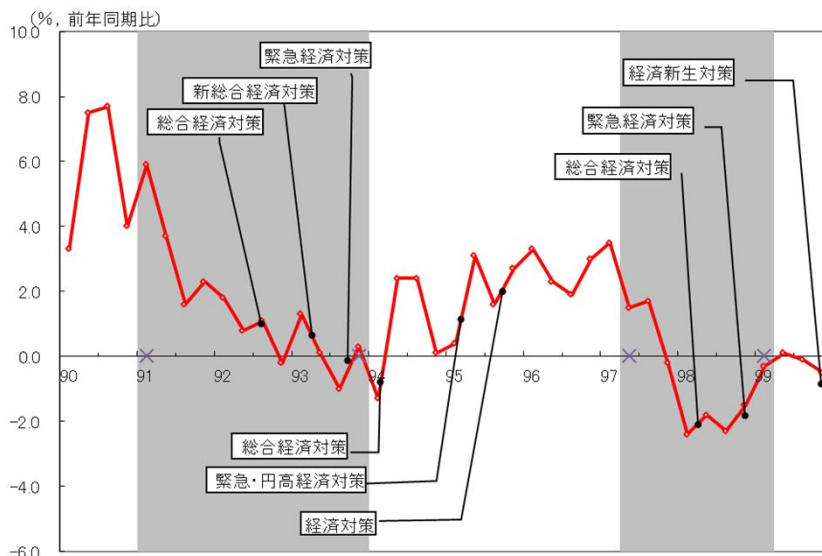
経済成長率の変動と経済対策



(注) 内閣府ホームページ、国民経済計算より作成

40

経済成長率の変動と経済対策



(注) 内閣府ホームページ、国民経済計算より作成

41

経済政策の手段

- ① 財政・・・政府がお金を使う
- ② 金融・・・政府がお金を貸す(日銀、公的金融)
- ③ 規制・制度
- ④ 指導・指針提示・情報提供

42

自主学習

※ 授業で学んだことをヒントに各自で考えてみてください。意欲のある学生は、Toyonet-Aceの掲示板を活用して学生同士で議論・意見交換してください。自分の意見をまとめて人に伝えることで、力が付くと思います。

- 現在の政府の経済政策(アベノミクス、TPP参加、震災復興、消費増税、社会保障改革、等々)を、経済政策の3つの機能から評価してみよ。
- 身近なさまざまな行政サービス(学校教育、警察、ごみ収集等)は、なぜ民間ではなく公共部門が担っているのか？
 - 具体例を挙げて、①資源配分、②所得再分配、③経済安定化の3つの観点から考えてみよ。
- 資源配分[経済効率] vs 所得再分配[公平]
・・・どちらを優先すべきか？
 - 資源配分[経済効率]: **成長戦略**(強い分野に資源を集中)や、**構造改革**(資源の無駄使いをなくす)を優先？
 - 所得再分配[公平性]: **格差是正**(弱者や弱い分野を保護)を優先？

43

自主学習(続き)

- 大きな政府 vs 小さな政府・・・どちらを目指すべきか？
 - 大きな政府：政府は、格差是正・福祉(所得再分配)や、景気回復(経済安定化)にも、積極的な役割を果たすべき
 - 小さな政府：政府の役割は、警察・消防など、市場の失敗がある場合の最低限のみに限定して、市場を重視すべき

【参考書の主な関連箇所】

日本経済読本〔第19版〕：第3章(特に第1節)

ゼミナール日本経済入門〔第25版〕：2章、5章 - II(歴史・理論)

ゼミナール経済政策入門：第1章

【読書案内】

飯田泰之(2010)『ゼロから学ぶ経済政策』角川oneテーマ21(新書)

岩田規久男(2008)『景気ってなんだろう』ちくまプリマー新書